

分会情報

J R東海労大阪仕業検査車両所分会

No.45 2011.12.11

発行責任者 柿本 克彦

編集責任者 教 宣 部

現場最高責任者、田中所長

「大声で指摘するも・・・！」

その指摘は、間違いだった！！

12月8日から年末年始輸送安全総点検がはじまりました。12月9日には田中所長、沖本科長が仕業検査1本目に点検に入り、A班・B班とも側(山・海側)点検の検査作業者に付きました。庫3番線、山側に付いた田中所長は4号車No.2台車付近まで作業者に知られないようについて行き、いきなり大声で「違うやろ！タイヤ・踏面、フレーキディスク、ライニングの次は軸箱だ！」と作業者を罵声しました。しかし検査手順はタイヤ・踏面、フレーキディスク、ライニング、タイヤクリーン、軸箱であり、その事を作業者が田中所長に「これが順番じゃないのか」と指摘すると、自分の誤りを認めず「次に行け！」と繰り返すだけで、問題をあやふやにしました。

管理者の注意・指導でボーナスカットされる不当な現状において、誤まった注意・指導でボーナスカットされたのでは、たまったものではありません。

管理者の田中所長は、自らの誤りを真摯に認めて当該の作業者に先ず謝罪すべきです。また、不必要な罵声・大声は作業者を畏縮させるばかりで、何ら意味のない行為で、まさにパワー・ハラメントです。

昔から能力に劣る者は大声で威嚇して、自分の力を示すと言われていました。人間的にもその辺から正す必要があるかも知れません。